



特別養護老人ホームみちのく荘 まるめ3通信

人生っていろいろ、あっという間。
今、自分のための人生を楽しんでいる。

成田 ミヨ さん 大正 12 年生まれ 88 歳 / 青森市出身

私の小径

り一人で好きなことができるし、飽きてくれば外で油を売つてこれる。」お部屋には、亡くなつた旦那様の写真や、お土産にもらつた置物など大切な思い出がたくさん飾られています。古くなつた服は、裁縫の腕を活かして直し、また何年も着ます。「もつたいない」という気持ちから、古い物ばかり使つてしまい、ボロは宝だもの。」

衣装ケースやタンスに並んだ、愛着のある洋服を眺めていると、それを見ていた当時のさまざまなお出来事を懐かしく思い出すのだそうです。

終戦後、専業主婦として家事や子

「グループホームまるめろ」に入居して丸3年の成田さん。娘さんと一緒に施設を見学し、入居者が本を読んだりテレビを観たり、各自に好きなことをしている自由な雰囲気が一目で気に入り、

「できるだけ人様の世話にならずに、また一人で暮らしたいと思つていましたから、ここならそれが叶うんじゃないかと思いました。」

と当時の心境を話します。

点は「」にあるようです。今の一一番の楽しみはショッピングです。月に数回、特養みちのく荘内にある売店を「物資部」と呼びお菓子を買いに出掛けます。応対する事務職員と世間話を楽しみながら、一緒に食べる同居人たちの顔を思い浮かべ、ゆっくりと品物を選ぶ時間が好きなようです。人や物を大切に思う気持ちが、成田さんの人生の豊かさに通じているのでしょうか。

「あの頃、皆が必死で働いていたから、私も負けていられないでしょ。子供たちを育てるために、毎日、大鍋での食事作りを夢中でやりました。」

食事は大好評。下宿人達から「かっちゃ（お母さん、おばさん）」と慕われ、「これめえなあ（おいしいなあ）」と言われることに喜びを感じていました。

A photograph of an elderly woman with short grey hair and glasses, smiling and waving her right hand. She is wearing a dark red and black patterned top and a light blue skirt. She is seated on a blue cushion. In front of her is a large, round, textured vase holding a floral arrangement with pink flowers and green leaves.

春風のような暖かさを運んでくれる成田さんのこの笑顔で周囲は明るさに包まれます。

みちのく金谷総合デイサービスセンターには、2つの常設娯楽室があります。1つは、囲碁やトランプ、全自动麻雀卓、スロットマシン、インターネット、テレビゲーム機などを備えた娯楽室。もう1つはカラオケ専用室。どちらも、時間帯を気にすることなく、無料で利用できます。利用者同士でメンバーを誘い合って楽しんだり、定期的に麻雀大会やトランプ大会を自主開催しています。

氣のおけない仲間と楽しむ趣味、ひとりで氣がねなく楽しむ趣味。いつもでも好きな時間を選ぶことができるのが常設の娯楽室のいいところです。

楽しいからこそ、豊かな表情、滑らかに動く腕や指、そして新しい仲間が生まれます。

常設の娯楽室には、毎日、笑顔があふれています。



100歳おめでとうございます！

特養いこいの里に入居中の江口みつゑさん、特養みちのく荘に入居中の島村満枝さんの2名が満100歳を迎え、むつ市長から顕彰状とお祝い金をいただきました

1月15日に行つた誕生会では、ケーキのロウソクを一生懸命吹き消していた島村満持さんです



やさしい街づくりを応援しています。



